



## 湾岸・アラビア半島地域ニュース

### イラク：石油・ガス法案を巡る動き及びクルドでの新油田発見

(5月14日付アッシャルクルアウサト紙)

2007年2月に閣議で合意された石油・ガス法案を巡る最近の状況及びクルドにおける新油田発見について報じている。

#### 1. 石油・ガス法案を巡る動きに関するイラク情報筋の発言

石油省とクルド地域政府との間の確執を引き起こしている石油・ガス法案を今月末までに国民議会の審議にかけるべきであるとの国内の政治的圧力がある。また、クルド同盟は、石油分野における民間セクターの発展のための石油監督機構の設立を求めている。他方で、ダアウ党（シーア派）やタワーフク（スンニー派）等の各派は、法案で設置が予定されているイラク国営石油会社（INOC）を通じて、バグダッドでの中央集権的な石油決定権を維持させたいと望んでいる。

#### 2. イラク政府筋発言

イラク政府は石油分野を細分化することによって石油産業全体を前進させようとしているが、石油・ガス法案が頓挫し、石油産業における法的枠組が欠如してしまっているために石油産出量が望ましいレベルに達していない。政府は投資と発展のための法案を成立させたい。

#### 3. フラミー-KRG（クルド地方政府）石油相発言

(1)クルド地域で埋蔵量 20 億バレル規模の 3 つの新規油田が発見された。当該 3 つの油田は KRG 石油省を通じて発見されたものである。今後 4 - 5 年間にクルドにおける石油生産量は日量 100 万バレルに達し、これはイラク全体及びクルドに約 350 億ドルの収入をもたらすことになるであろう。

(2)中央政府は、KRG がそれに従い石油分野での権限を行使している憲法の条項に盛り込まれた表現を、新法を通じて削除することを望んでいる。KRG はこれまでに、米、豪州、カナダ、韓国、トルコ等の企業との間で 20 の（石油開発）契約を締結したが、今後とも必要に応じて締結していく考えである。しかしながら、世界的な石油企業の 2 社に関して、クルドと契約したら（中央政府との）契約を破棄すると脅されたため、当該 2 社との交渉が頓挫するに至っている。

(3)クルドにおける海外からの投資額は 100 億ドルに達しており、本年末には日量 4 万バレルを処理する 2 基の製油所が完成する予定。更に 2 基の製油所建設が進められている。